

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速①

事業名	担当課・室名	ページ
GAPを活かす産地育成事業	地域農業振興課	1 / 8
The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 8
短期集中県域支援品目販売戦略推進事業	おおいたブランド推進課	1 / 8
県産食材味力発信事業	おおいたブランド推進課	2 / 8
しいたけ消費拡大対策事業	林産振興室	2 / 8
県産水産物流通拡大推進事業	漁業管理課	2 / 8
6次産業化サポート体制整備事業	おおいたブランド推進課	3 / 8
木造建築物等建設促進総合対策事業	林産振興室	3 / 8
持続可能な豊かな有機産地等活性化事業	地域農業振興課	3 / 8
水田農業産地力強化対策事業	水田畑地化・集落営農課	4 / 8
食品企業連携産地拡大推進事業	おおいたブランド推進課	4 / 8
短期集中県域支援品目生産拡大推進事業	園芸振興課	4 / 8
おおいた園芸産地づくり支援事業	園芸振興課	5 / 8
花き経営安定化対策事業	園芸振興課	5 / 8
果樹産地参入支援事業	園芸振興課	5 / 8

施策名：マーケットインの商品(もの)づくりの加速②

事業名	担当課・室名	ページ
県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業	畜産振興課	6 / 8
おおいた冠地どり流通拡大対策事業	畜産振興課	6 / 8
酪農経営生産性向上対策事業	畜産技術室	6 / 8
草地畜産基盤整備事業	畜産技術室	7 / 8
大野川上流地区園芸産地強化対策事業	農村整備計画課	7 / 8
林業再生県産材利用促進事業	林産振興室	7 / 8
しいたけ増産体制整備総合対策事業	林産振興室	8 / 8
農林水産物輸出需要開拓事業	おおいたブランド推進課	8 / 8

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
1	<b>GAPを活かす産地育成事業</b> ( R2 ~ R7 ) 地域農業振興課 安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、GAP（農業生産工程管理）に取り組む産地を育成し、JGAP等の外部認証を取得する産地を支援する。	①GAP指導體制確保 ・GAP指導員研修の開催（GAP指導者の育成） ・団体認証研修の開催（団体認証の推進） ・GAP指導員の資質向上研修への参加 ②GAPの普及拡大 ・農業者へのGAP普及啓発セミナーの開催 ③JGAP残留農薬検査 JGAP認証取得生産者等を対象とした農作物の残留農薬検査費用の一部助成	① 1,998 ③ 430	<b>GAP指導員による指導数</b> [経営体]	目標値	—	180	180	A		
			② 574 ④		実績値	—	202	—			
			主な活動指標と達成率				達成率	—	112.2%	—	
			JGAP指導員研修の開催			目標値	1	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 GAP指導員を育成し、202経営体にGAPの取組等について指導を実施した。引き続き、GAP指導員の育成や資質向上を行い、GAPの取組を広く生産者に普及させ、安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を推進するとともに、大手コンビニ等実需からのGAP認証農産物の要求に応えるため、生産者等のGAP認証取得を継続して支援する。			
			[回]			実績値	1				
GAP啓発セミナーの開催			目標値	1							
[回]			実績値	1							
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,535 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,151 (2,711)				達成率	100.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
2	<b>The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業</b> ( H28 ~ ) おおいたブランド推進課 県産農林水産物の販売を促進するため、マーケットニーズに対応した販路開拓に取り組むとともに、総合的な情報発信を行う。	①消費拡大対策 ・県産農林水産物の流通販売戦略を立案推進する流通対策本部の活動を支援 ・「The・おおいた」ホームページの保守管理運営や季刊誌の発行 ②流通戦略推進費 農産及び水産マーケターが、県外拠点市場等へ出張するための旅費 ③カボス振興対策 「大分かぼす」を全国にPRし、需要拡大を図るために活動する大分県カボス振興協議会に対する負担金	① 11,968 ③ 3,250	<b>園芸戦略品目でシェア1位の拠点市場数</b> [市場]	目標値	12	12	12	A		
			② 3,848 ④		実績値	13	14	—			
			主な活動指標と達成率				達成率	108.3%	116.7%	—	
			県外でのトップセールス回数			目標値	4	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 主要出荷先でのトップセールスのほか県内外での販促活動やPR活動を積極的に実施したことで、園芸戦略品目14品目のうち、シェア1位となった拠点市場数はピーマン、白ねぎ、こねぎ、にら、高糖度かんしょ、かぼすの14市場となった。 引き続き、短期集中県域支援品目の増産計画を踏まえた、市場の新規開拓や既存市場でのシェア拡大、消費喚起対策に重点的に取り組んでいく。			
			[回]			実績値	4				
農産及び食品企業担当マーケターによる商談回数			目標値	100							
[回]			実績値	205							
予算額 (うち翌年度繰越額) 20,140 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 19,066 (0)				達成率	205.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
3	<b>短期集中県域支援品目販売戦略推進事業</b> ( R4 ~ R6 ) おおいたブランド推進課 短期集中県域支援品目（ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーズ）の生産拡大計画を踏まえた有利販売を実現するため、全農おおいたが実施する戦略的な販売促進活動に対し助成する。	①戦略的な販売促進に対する支援 ・大手食品メーカーと連携したプレゼントキャンペーンや量販店での特設売場設置による販売促進、集客力がある大型商業施設でのフェアの開催（ねぎ・ピーマン） ・甘太くん専用焼き芋機と甘太くん着ぐるみによる量販店での販売促進（高糖度かんしょ（甘太くん）） ・ギフトアイテム取扱拡大に向けた高級量販店での販売促進、関西百貨店でのメニューフェアによる認知度向上（ベリーズ）	① 17,384 ③	<b>短期集中県域支援品目の合計販売金額</b> [百万円]	目標値	6,802	8,317	8,989	B		
			②		④	実績値	6,707	7,994		—	
			主な活動指標と達成率				達成率	98.6%	96.1%	—	
			補助事業採択件数			目標値	1	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 販路開拓アドバイザーによる新規販売先の開拓や、大手食品メーカーと連携したプレゼントキャンペーン、消費拡大に向けた飲食店とのメニューフェアなど、積極的に販売促進活動を実施した結果、短期集中県域支援品目の合計販売金額は7,994百万円となった。 引き続き、生産者による市場PRや試食宣伝など、積極的な販売促進を継続的に実施する。			
			[件]			実績値	1				
			達成率	100.0%							
			目標値								
予算額 (うち翌年度繰越額) 19,800 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 17,384 (8,334)				実績値							
				達成率							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-（2）】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
4	<b>県産食材味力発信事業</b> （R5～R5） おおいたブランド推進課 令和6年度に開催される福岡・大分デスティネーションキャンペーンを契機とした県産農林水産物の消費拡大を図るため、県内飲食店等と連携したイベントを実施する。	①県内飲食店等と連携した県産農林水産物認知度向上イベントの実施 ・大分おもてなし料理選手権を開催し、優秀メニューを開発した店舗を表彰 ・選手権参加店舗の来店客を対象とした県産食材プレゼントキャンペーンの実施 ②福岡・大分DCに向けた大分おもてなし料理のPR特設ホームページを作成し、開発メニュー及び店舗をPR	① 8,070 ③	<b>福岡・大分DCでのおもてなし料理提供店舗数</b> [店舗]	目標値		50		A	
			② 3,630 ④		実績値		73			
			主な活動指標と達成率			達成率		146.0%		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 11,700 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 11,700 (0)		大分おもてなし料理選手権応募メニュー数 [品]		目標値 100 実績値 87 達成率 87.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 訪問等により店舗への提案を積極的に行い、おもてなし料理提供店舗数は目標を大きく上回った。 HPやSNSなどの情報発信に加え、テレビでも取り扱われたことにより、参加店舗からは売上アップにつながったとの反響があった。 これらの取組により、当初の事業目的を果たしたことから当該事業は終了する。引き続き、令和6年度の福岡・大分DCを好機として、県内外の観光客に向けて大分おもてなし料理をPRし、本県農林水産物の認知度の向上を図る。				
		大分おもてなし料理選手権特設ホームページのホームページ及びSNS等表示回数 [万回]		目標値 160 実績値 109 達成率 68.1%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
5	<b>しいたけ消費拡大対策事業</b> （R3～） 林産振興室 しいたけの消費拡大を図るため、生産者と流通事業者等が一体となって行うブランド力向上や新たな消費者層の獲得に向けた取組を支援する。	①「うまみだけ」による消費拡大対策 ・販売店の拡大に係る取組（全国）：3回 ・観光施設と連携したメニュー化の取組（全国）：1回 ・販促PRイベントの開催（全国）：7回 ・メディア、SNS等での魅力発信（全国）：10回 ・加工品開発支援（県内）：3回 ・大消費地での販売強化：全国5箇所 ・品質別管理調査委託：32件 ②乾しいたけの販売強化・普及PR活動 ・販売店の拡大に係る取組（県内）：6回 ・料理コンクールの開催（県内）：1回 ・料理セミナーの開催（全国）：6回 ・生しいたけの販売強化・普及PR活動 販売イベントの開催（県内・京都）：2回	① 16,598 ③	<b>「うまみだけ」生産量</b> [t]	目標値	60	120	125	C	
			② 1,489 ④		実績値	55	96	—		
			主な活動指標と達成率			達成率	91.7%	80.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 25,384 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 22,448 (7,548)		乾しいたけPR活動回数 [回]		目標値 12 実績値 15 達成率 125.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 普及員の指導等により、うまみだけ生産量は前年比175%まで増加したが、高齢化による規模縮小等により目標は達成できなかった。他方、うまみだけのプロモーション等により販売店等での取扱いは増加し、市場平均単価は一般品と比べて530円/kg高く取り扱われている。 今後もマーケティング等による生産者への情報提供により出荷量の増加を図るとともに、観光客等に向けたプロモーションにより、県内外での消費拡大強化を図る。				
		「うまみだけ」PR活動回数 [回]		目標値 4 実績値 16 達成率 400.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
6	<b>県産水産物流通拡大推進事業</b> （R1～R6） 漁業管理課 県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地における販促活動を行うとともに、各種団体の強みを活かして、団体ごとに対象を絞った魚食普及活動や「おおいた県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を実施する。	①パートナーシップ飲食店等でのフェア開催 ・天井チェーン店（ハモ、ブリ等の天然魚フェア）：2回 ②魚食普及活動 ・小中学校等でのお魚捌き方教室等の開催：20回 ・ヘルスメイト向けの講習会開催：13回 ③都市圏市場等への販路開拓、量販店・飲食店でのフェア開催 ・関東：9回（かぼすブリフェア等） ・関西：7回（大分フェア等） ・九州：4回（かぼすヒラメ、ヒオウギガイフェア等）	① 5,441 ③ 2,992	<b>「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」数</b> [店]	目標値	1	1	1	A	
			② 4,363 ④		実績値	1	1	—		
			主な活動指標と達成率			達成率	100.0%	100.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 12,796 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 12,796 (0)		認定飲食店等でのフェア開催回数 [回]		目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ハモ等の取扱実績のある天井チェーン店を「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」として認定した。また、「おおいたの魚パートナーシップ量販店」等を中心にフェアを開催したほか、県内で県漁協等の各種団体が魚食普及活動を行い、県産魚のPRを行った。 今後は、全国豊かな海づくり大会を契機とした県産水産物の消費拡大を図るため、学校給食での県産魚の提供や県内量販店での購買意欲を喚起するキャンペーン等を実施する。				
		量販店等でのフェア開催回数 [回]		目標値 20 実績値 20 達成率 100.0%						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-（2）】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
7	<b>6次産業化サポート体制整備事業</b> （H29～） おおいたブランド推進課 農林漁業者等と2次・3次事業者の連携を促進するとともに、6次産業化を推進するため、県産農林水産物の付加価値向上、雇用の創出、地域の活性化につながる取組を実施する。	①6次産業化サポートセンター等の運営 ・6次産業化の総合相談窓口を設置し、農林漁業者等の経営改善を支援 ・6次産業化等に取り組む事業者を対象とした研修会の開催 ・異業種交流会の開催 ②スタートアップ支援、出口支援 ・取組の初期段階で生じる個別課題に対して、専門家の派遣や事例集の作成による普及啓発を行い、新たな取組の後押しを推進 ・事業者の商談スキルの向上や販路拡大、商品改良を図るため、オンライン商談会等を実施	① 20,563 ③ ② 2,521 ④	<b>6次産業化等の新規取組件数</b> [件]	目標値	12	12	12	A
					実績値	16	18	—	
				達成率	133.3%	150.0%	—		
			予算額 （うち翌年度繰越額） 24,154 (0)	決算額 （うち国庫支出金） 23,084 (20,563)	6次産業化チャレンジスクール受講者数 [人]	目標値 20 実績値 30 達成率 150.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 6次産業化サポートセンターや九州農政局等の関係機関と連携して新たに取り組む経営体の確保や経営安定に向けた支援を行った。また、オンライン商談会や試食展示会を開催して事業者の販路開拓を後押しした。 その一方で6次産業化に取り組む事業者の経営安定化が急務であり、引き続き、関係機関と連携し経費分析、決算書分析等を通じ経営指導の強化を図りながら6次産業化等の推進を図ることとする。		

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
8	<b>木造建築物等建設促進総合対策事業</b> （H23～） 林産振興室 県産材の利用促進を図るため、非住宅建築物の木造化・内装木質化等に要する経費に対し助成するとともに、県産材を活用した木造建築物の普及に取り組む。	①非住宅建築物地域材利用促進事業 建築物木材利用促進協定を締結した事業者の建築物の木造化・内装木質化に要する経費の一部を助成：1件 ②木の匠育成事業 建築士等が木造に取り組む際の相談窓口を設置	① 1,794 ③ ② 900 ④	<b>木造化・木質化施設数</b> [棟]	目標値	1	1	1	A
					実績値	2	1	—	
				達成率	200.0%	100.0%	—		
			予算額 （うち翌年度繰越額） 7,900 (0)	決算額 （うち国庫支出金） 2,847 (0)	建築物木材利用促進協定締結数 [件]	目標値 1 実績値 1 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 民間事業者との建築物木材利用促進協定の締結により、民間事業者1者の施設1棟の木造化・木質化が図られた。 引き続き、民間事業者等との建築物木材利用促進協定の締結を推進するとともに、地域材利用のモデルとなる建築物の木造化・内装木質化等を図り、県産材利用を促進する。		

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
9	<b>持続可能な豊かな有機産地等活性化事業</b> （R4～R6） 地域農業振興課 持続可能な食料システムを構築するため、「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機野菜等の生産・販売に取り組む産地を育成する。	①市町村単位での有機産地等の育成 ・市町村による有機農業取組支援 ・減農薬・減化学肥料栽培の取組支援 ②有機農産物の流通・販路拡大 ・県域出荷組織の体制強化 ・販売等PRの実施 ③持続可能な有機農業経営体の育成 異常気象対策や作業効率向上のための施設機械整備支援	① 21,397 ③ 4,250 ② 10,146 ④	<b>県域出荷組織構成員の販売額</b> [百万円]	目標値	291	312	334	B
					実績値	297	298	—	
				達成率	102.1%	95.5%	—		
			予算額 （うち翌年度繰越額） 37,912 (0)	決算額 （うち国庫支出金） 35,793 (27,265)	土壌診断数 [件]	目標値 50 実績値 100 達成率 200.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 本年度は、令和4年度に設立された協同出荷や販路開拓を進める組織により県内の物流構築、九州の県外販路や共同販売の試行を行い、安定した協同出荷・販売体制の構築に取り組んだ。また、イベントや飲食店等での販売・PR活動により販路拡大に努めた。 引き続き、安定したサプライチェーンを確立するため、県域出荷組織の生産販売体制の強化を支援する。		

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-（2）】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
10	<b>水田農業産地力強化対策事業</b> （R4～R6） 水田畑地化・集落営農課 消費者ニーズに応じた水田作物の生産・供給体制を強化するため、良食味米及び麦・大豆の収量・品質の高位平準化に取り組むほか、高温に強い水稲品種への転換を支援する。	①先端的水田農業経営体育成対策 ・農地利用効率化等支援事業：4地区 ・担い手確保・経営強化支援事業：1地区 ・先端的技术活用経営体育成対策：2地区 ②県産米のパワーアップ対策 ・なつほのかの導入・普及・産地拡大対策 推進協議会運営支援、販売促進資材作成等 ・つや姫の産地育成対策：4件 つや姫コンテスト開催、販売促進資材作成等 ・特A獲得対策：6件 特A米栽培に向けた実証ほの設置と管理指導、病害虫の適期防除指導等	① 15,412 ③ 1,198	<b>米の食味ランキング 特A獲得地区数</b> [地区]	目標値	1	1	1	A	
			② 4,527 ④		実績値	3	4	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	③スマート水田農業研究会調査委託：2地区	主な活動指標と達成率		達成率	300.0%	400.0%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 特A獲得対策において、県内各地で栽培指導や病害虫防除等を徹底した結果、米の食味ランキングにおいて、新品種「なつほのか」を含む出品した4品種全てで「特A」を獲得することができた。 引き続き、新品種「なつほのか」を中心として、消費者ニーズに応じた水田作物の生産・供給体制の強化に向けた取組を推進する。
	27,481 (0)	24,903 (6,709) (14,232)		生産者組織の育成数 [組織]	目標値 6 実績値 6 達成率 100.0%	先端的水田農業経営 体育成対策事業箇所 数 [箇所]	目標値 3 実績値 7 達成率 233.3%			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
11	<b>食品企業連携産地拡大推進事業</b> （H28～） おおいたブランド推進課 農商工連携による農林水産物の付加価値向上を図るため、産地と県内外の食品企業が連携した取組を支援する。	①産地育成対策 ・加工業務用農産物の栽培に必要な土壌分析、生産費及び機械化体系の確立に向けた機械のレンタルや運搬費用等に対する支援 ・加工業務用原料の供給拡大に必要な農業用機械、搬出用機械等の導入に対する支援 ・加工業務用原料の品質・量の確保に向けた品種試験や排水対策実証等を支援 ②ビジネスマッチング対策 フードメーカーによる食品企業と産地のマッチングの推進 ③加工業務需要拡大対策 産地と食品企業等が連携して取り組む新商品開発や製造拡大に必要な加工機械等の整備への支援	① 5,177 ③ 1,475	<b>食品企業ニーズに対応した生産・出荷体制の構築</b> [マッチング数・産地拡大数]	目標値	24	24	24	A	
			② 2,784 ④		実績値	32	38	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	④加工業務用農産物の栽培拡大面積 [ha]	主な活動指標と達成率		達成率	133.3%	158.3%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 食品企業のニーズを早期に産地づくりに活かす仕組みを構築するための加工・業務用産地育成会議を円滑に進め、各地域で産地育成計画を策定し、推進を図った結果、たまねぎ、キャベツ等の生産拡大が図られた。 引き続き、県域産地育成に向けた栽培技術確立に向けた生産資材や生産拡大に必要な機械の導入等により早期の産地化を進め、生産者が安定した経営を行えるよう支援していく。
	11,108 (0)	9,436 (2,588)		商品化支援件数 [件]	目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
12	<b>短期集中県域支援品目生産拡大推進事業</b> （R4～R6） 園芸振興課 短期集中県域支援品目の生産を拡大するため、産地の主体的な取組を集中的かつ総合的に支援する。	①ねぎ産出額100億円プロジェクト対策 ・計画的な面積拡大への支援（常用機械など） ・夏季生産安定対策（遮光資材など）等 ②高糖度かんしょ産地拡大対策 ・機械・施設整備支援等 ③「ベリーツ」生産確立対策 ・生産技術の高度化（ドローン作業委託など） ・機械設備導入支援（優良種苗確保など） ・パッケージセンター整備支援（1箇所）等 ④ピーマン産地拡大強化対策 ・経営体確保・育成支援（自動化施設など） ・病害虫対策等	① 327,380 ③ 16,833	<b>短期集中県域支援品目の作付面積の拡大</b> [ha]	目標値	644	763	787	A	
			② 62,220 ④		実績値	660	783	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	④ピーマン産地拡大強化対策 ・経営体確保・育成支援（自動化施設など） ・病害虫対策等	主な活動指標と達成率		達成率	102.5%	102.6%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツの産地拡大を急ぐため、産地拠点施設や生産機械・設備の整備、生産性向上技術の確立等をパッケージで支援することで目標を達成した。 引き続き、経営体の規模拡大や調製作業の分業化体制構築などの労力確保対策を支援するとともに、急速に拡大が進んだ「白ねぎ」は、早期の経営安定に向けた取組を進める。
	427,595 (0)	413,063 (407,679)		白ねぎ産地の拡大 [ha]	目標値 453 実績値 453 達成率 100.0%	高糖度かんしょの生産面積 [ha]	目標値 163 実績値 183 達成率 112.3%			

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
13	<b>おおいた園芸産地づくり支援事業</b> ( R4 ~ R6 ) 園芸振興課 短期集中県域支援品目等の生産を拡大するため、認定農業者等が行う栽培施設や共同利用施設の整備等を支援する。	①産地拡大推進品目対策 ・栽培施設整備（ニラ、キウイフルーツ、ぶどう等）14件 ・機械導入・リース（枝豆、果樹、茶等）10件 等 ②短期集中県域支援品目対策 ・栽培施設整備（こねぎ、ピーマン、ベリーツ）13件 ・資産継承支援（こねぎ、ベリーツ）3件 等 ③地域担い手支援品目対策 ・栽培施設整備（ぶどう）1件 ・機械導入（柑橘）2件 等	① 176,154 ③ 6,150 ② 165,349 ④	<b>産地拡大推進品目の増加面積</b> [ha]	目標値	45.0	45.0	45.0	A
					実績値	43.6	45.4	—	
	主な活動指標と達成率 産地づくり計画策定数	目標値	55	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 物価上昇による影響で、事業取下げや規模の縮小等が発生したものの、新規就農者の確保や認定農業者の規模拡大など産地の生産基盤の拡大が図られたことで、目標を達成した。 引き続き、短期集中県域支援品目の産地拡大に向けた重点支援を図るとともに、市町の産地戦略に基づいて認定した産地拡大推進品目に対する支援を進め、園芸品目の生産面積拡大に取り組む。	実績値	86			
	[計画]	達成率	156.4%		達成率	96.9%	100.9%	—	
事業担当者会議の開催回数 [回]	目標値	4	実績値	4	達成率	100.0%			
予算額 (うち翌年度繰越額) 1,150,904 (502,354) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 493,115 (138,519) (258,634)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
14	<b>花き経営安定化対策事業</b> ( R3 ~ R5 ) 園芸振興課 花きの流通販売体制を強化するため、コロナ禍による需要構造の変化への対応や、経営リスク分散に向けた複合品目の導入を支援する。	①経営安定化のための複合品目導入支援 複合品目の導入を支援 ・複合経営による経営の安定化を目的とした需要の高い品目（トルコギキョウ、ストック、グラジオラス、スモークツリー）の導入支援 ・導入戸数：トルコギキョウ4戸、ストック4戸、グラジオラス3戸、スモークツリー2戸 ・導入面積：274a ②流通・販売体制強化対策 県産花きのPR、消費拡大を支援 ・「おおいたテーブルブーケプロジェクト」の本格運用に際し、イオン九州のeコマースと連携した県産花きの販促活動を支援	① 1,279 ③ ② 1,210 ④	<b>複合品目の導入面積</b> [ha]	目標値	1.0	2.5		A
					実績値	1.2	2.7		
	主な活動指標と達成率 事業担当者会議の開催回数	目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍における多様な品目の花きの消費需要に対応するため、キク生産者に対して、2.7haの複合品目の導入支援を行い、経営安定を図った。また、企業と連携した県産花きのPR活動を支援し、花きの消費拡大に取り組んだ。 これらの取組により、当初の事業目的を概ね達成したことから、当該事業は終了する。	実績値	2			
	[回]	達成率	100.0%		達成率	120.0%	108.0%		
新品種等導入にかかわる研修会開催回数 [回]	目標値	2	実績値	2	達成率	100.0%			
予算額 (うち翌年度繰越額) 2,761 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,706 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
15	<b>果樹産地参入支援事業</b> ( R5 ~ R7 ) 園芸振興課 市場ニーズに対応した果樹産地の拡大を進めるため、新規参入企業等の早期経営安定に向けた園地適性調査等を実施する。	①簡易ほ場整備 ・スモールスタート（小規模での経営開始）に向けた土壌調査、用地造成、区画整備、排水対策等 区画整備、獣害柵設置 3箇所（327a） ②集積農地の園地適性調査 ・基盤整備事業実施予定地に対する土壌断面調査、化学性調査、地下水位調査等 佐伯市 1箇所	① 5,751 ③ ② 280 ④	<b>拠点整備に取り組んだ担い手数</b> [累計：件]	目標値		30	40	A
					実績値		37	—	
	主な活動指標と達成率 担当者会議の開催回数	目標値	3	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 簡易ほ場整備を含むスモールスタートや基盤整備の採択により、拠点整備に取り組んだ担い手数は37件となり目標を達成した。 引き続き、参入希望者が早期経営開始できるよう支援を行うことで基盤整備の実施に繋げ、果樹産地の拡大を図る。	実績値	14			
	[回]	達成率	466.7%		達成率		123.3%	—	
果樹園地整備研修会 [回]	目標値	2	実績値	2	達成率	100.0%			
予算額 (うち翌年度繰越額) 13,644 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,205 (0)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
16	<b>県産豚「米の恵み」競争力強化対策事業</b> (H29～) 畜産振興課 県内養豚農家の所得向上を図るため、オレイン酸に着目した県統一ブランド「米の恵み」及びオレイン酸含有率の高い高価格帯の特別商品「米の恵みプレミアム」の販売促進等を支援する。	①「米の恵み」消費拡大のための販促資材の作成及び広告・宣伝活動に対する支援 ・ホテル・飲食店でのフェア開催 ・米の恵み豚 飯あがれキャンペーンの実施 ・ノベルティ（エコバック等）の作成支援 等 ②オレイン酸含有率測定体制の整備 ・オレイン酸測定機により「米の恵み」として出荷する豚のオレイン酸含有率を測定 ・オレイン酸測定回数 129,286頭 うちプレミアム出荷頭数 39,088頭	① 2,850 ③	<b>米の恵みプレミアム出荷頭数</b> 目標値 35,000 実績値 33,455 達成率 95.6%	35,000	<b>35,000</b>	37,500	A			
			② 620 ④		実績値	33,455	<b>39,088</b>		—		
			主な活動指標と達成率			[頭]	達成率	95.6%	<b>111.7%</b>	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 認知度向上と販売促進を目的とした県内外の飲食店等でのフェアやキャンペーンの実施を支援するとともに、TVや新聞等で積極的に情報発信した結果、目標を上回った。 今後も、フェア・イベントへ積極的に参画し、販路拡大の取組を進め、「米の恵み」の認知度向上・消費拡大を図る。
			イベント等開催回数	目標値	10	実績値	12	達成率	120.0%		
			オレイン酸測定回数	目標値	111,500	実績値	129,286	達成率	116.0%		
予算額 (うち翌年度繰越額) 4,038 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,470 (0)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
17	<b>おおいた冠地どり流通拡大対策事業</b> (H29～) 畜産振興課 県産地鶏「おおいた冠地どり」のさらなる生産拡大を図るため、専門店設置によるブランド力向上と需要拡大に取り組むとともに、供給力強化に必要な施設の整備改修を行う。	①増羽のための施設整備や改修にかかる費用の助成 ・自動給餌ライン一式：1件 ・給餌器：1件 ・動力噴霧機一式：1件 ・解卵器冷却水用チラー：1件 ②県内外への販路拡大や商談展示会・フェアの開催等による知名度向上に要する経費の支援 ・大分空港や大分駅での看板設置 ・大分県農林水産祭への出店 ・大分県産品展示商談会参加 ・ホテル、飲食店への食材提案 ・サンプル提供	① 1,693 ③	<b>出荷羽数</b> 目標値 150 実績値 131 達成率 87.3%	150	<b>150</b>	150	B			
			② 1,576 ④		実績値	131	<b>135</b>		—		
			主な活動指標と達成率			[千羽]	達成率	87.3%	<b>90.0%</b>	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 飲食店への販路開拓を積極的に行い、出荷羽数はコロナ禍以前の水準を上回った。しかしながら、コロナ禍の影響により既存の飲食店が廃業したこと等により、目標達成には至らなかった。 引き続き、外食産業や消費者へのPRを強化するとともに、生産農家に施設整備や改修を促し、生産性・収益性の向上を図る。
			情報発信回数	目標値	3	実績値	6	達成率	200.0%		
			現地協議回数	目標値	3	実績値	5	達成率	166.7%		
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,702 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,269 (0)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
18	<b>酪農経営生産性向上対策事業</b> (H29～) 畜産技術室 生産性の高い酪農経営体制を構築するため、後継牛の能力向上や飼養管理対策の取組を支援する。	①乳用優良雌牛貸付事業 初妊牛の外部導入経費に対し貸付けを実施 ②酪農支援対策施設整備事業 酪農経営体の省力化・カウコンフォート・暑熱対策等の機器整備に要する経費等に対し助成 ③後継牛能力向上対策事業 優良な後継牛を確保するため、ゲノム検査や高能力種雄牛の性別別受精卵購入に要する経費等に対し助成 ④経営体育成対策事業 酪農経営体の後継者を育成するため、大分県酪が実施するセミナー経費等に対し助成	① 21,120 ③ 2,999	<b>平均個体乳量9,000kg以上の農家戸数</b> 目標値 40 実績値 46 達成率 115.0%	40	<b>42</b>	44	B			
			② 10,942 ④ 320		実績値	46	<b>40</b>		—		
			主な活動指標と達成率			[戸]	達成率	115.0%	<b>95.2%</b>	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 乳用牛ゲノム検査や性別別受精卵の活用など高能力な後継牛の確保に向けた施策を展開したことで、生産性が高まり、結果として40戸が平均個体乳量9,000kg以上となったが、生乳の需給緩和に伴う生産抑制によって目標値(42戸)は達成できなかった。 今後は、生産コストの増大に対応可能な酪農経営体制の構築に向け、個体乳量の増加に資する補助を行うことにより、経営基盤の強化を図る。
			事業推進会議の開催回数	目標値	10	実績値	10	達成率	100.0%		
			後継牛割合	目標値	38.0	実績値	36.1	達成率	95.0%		
予算額 (うち翌年度繰越額) 44,763 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 35,381 (13,452)											

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
19	<b>草地畜産基盤整備事業</b> ( H29 ~ R11 ) 畜産技術室	①草地造成や施設整備に対する助成 ・事業実施地区：やまなみ地区 ・補助率：基本施設3/4 (国5.5/10 県2/10) ・事業内容 草地整備改良：7.6ha 草地造成改良：3.8ha	① 21,871 ③	<b>草地造成・整備面積</b>	目標値	74.0	104.0	124.0	A	
			②		④	実績値	99.6	111.0		—
	規模拡大による担い手の経営安定や、安全・安心な自給飼料を通じた産地づくりのため、飼料生産基盤の整備や、自給飼料活用型の経営改善を支援する。	主な活動指標と達成率	[累計：ha]			達成率	134.6%	106.7%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年度からやまなみ地区で事業着手し、前年度に引き続き事業を前倒して実施した結果、草地整備・造成実績は11.4haとなり目標を達成した。 しかしながら、酪農情勢の悪化を受けて事業辞退者が発生したことにより、当地区での要望が今後見込めないことから令和9年まで実施の予定を令和5年度で事業完了とする。 今後は、令和6年度に新規地区を立ち上げ、令和11年度まで引き続き自給飼料生産基盤の確立に取り組む。
			推進会議の回数	目標値	12	実績値	12	達成率	100.0%	
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
22,445 (0)	21,871 (15,950)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
20	<b>大野川上流地区園芸産地強化対策事業</b> ( R2 ~ R6 ) 農村整備計画課	①農地高度利用対策 ・ターゲット地区への営農意向アンケート調査：計163名 ・作付状況調査の実施：891ha×3回 ・農地利用計画書の図化：4地区 301ha ②給水栓の設置 ・給水栓新規設置への助成：50ヵ所(約20ha)分	① 2,354 ③	<b>給水栓の設置により新たな水使用が可能となる畑地</b>	目標値	107	20	40	A	
			② 1,000 ④		実績値	131	34	—		
	大野川上流地区において、大蘇ダムからの畑地かんがい用水を活用した野菜等の生産拡大及び農地の高度利用を図るため、給水栓の設置等を支援する。	主な活動指標と達成率	[ha]			達成率	122.4%	170.0%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 営農振興協議会で関係者の役割分担とスケジュールを明確化し、竹田市と連携して事業に取り組んだ結果、目標を上回る34haのほ場で新規給水栓を設置することができた。 引き続き、営農振興協議会を中心に給水栓設置や農地の高度利用を推進し、大野川上流地区の野菜の作付拡大を図る。
			竹田市西部地区営農振興協議会の開催回数	目標値	6	実績値	9	達成率	150.0%	
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)								
3,500 (0)	3,354 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
21	<b>林業再生県産材利用促進事業</b> ( H21 ~ ) 林産振興室	①木材加工流通施設整備事業 木材加工流通施設の整備に要する経費の一部を助成：2件 ②大径材製品等おおい材販路開拓事業 新たな大径材製品(2×4材)のサンプル出荷に要する経費を支援 ③大径材製品海外販路開拓事業 大径材製品の海外販路開拓に向けたサンプル出荷等を支援 ④JAS認証取得支援事業 JAS認証取得に要する経費の一部を支援	① 102,105 ③ 1,621	<b>乾燥材生産量</b>	目標値	10	12	14	A	
			② 1,775 ④ 181		実績値	16	16	—		
	県産材の需要拡大と高齢林の伐採・活用を図るため、木材の加工流通施設の整備や大径材の利用促進の取組等を実施する。	主な活動指標と達成率	[千㎡/年]			達成率	160.0%	133.3%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 堅調な国産材需要が続き、目標を上回る乾燥材生産量となった。また、大径材の利用促進を図るため、大径材製品のサンプル材生産や新たなJAS材製品を生産する企業のJAS認証取得を支援した。 引き続き、木材加工流通施設の整備や大径材の利用促進等の取組を実施する。
			乾燥機導入数	目標値	2	実績値	1	達成率	50.0%	
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)								
1,083,352 (967,568)	108,790 (73,210) (102,105)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-1-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
22	しいたけ増産体制整備総合対策事業 (H14～) 林産振興室	① 燃油価格・生産資材の高騰に対する補助 省エネ機械及び生産資材の導入に対し助成 ・生産施設高度化対策(省エネ乾燥機整備)：58台 ・生産施設高度化対策(省エネエアコン整備)：21台 ・しいたけ生産資材高騰対策(資材導入支援)：11件	①	67,656	③	5,912	中核的生産者数	目標値	219	219	B
			②	51,690	④			実績値	221	216	
	大分県産しいたけのさらなる品質向上と生産量の増大を図るため、生産基盤の整備や原木供給作業等の協業化の取組を支援する。	② 生産施設、機械等の導入に対する補助 しいたけの増産を図るための施設整備に対し助成 ・効率化促進対策(バックホウ等整備)：7件 ・生産施設高度化対策(散水施設等整備)：27件 ・乾しいたけ生産分業化対策(AI選別機整備)：1件	主な活動指標と達成率		[人]	達成率	100.9%	98.6%	—		
			低コスト簡易作業路の開設	目標値	22,000	実績値	14,781	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 しいたけ増産対策として低コスト簡易作業路の開設やバックホウ等の導入、散水施設やハウス等の生産施設整備の支援に加え、燃油価格及び資材高騰対策として省エネ乾燥機の導入、省エネエアコンの導入、生産資材の導入支援を実施した。 引き続き、生産規模拡大に向けた生産施設・機械等の導入を支援することで、中核的生産者を確保し、品質向上と生産量の増大を図る。			
生産施設等整備事業 実施分原木伏込量	目標値	3,854	実績値	4,542							
③ 林内作業路の整備に対する補助 原木の搬出を目的とした作業路開設に対し助成 ・低コスト簡易作業路整備：14,781m	[m <sup>3</sup> ]	達成率	117.9%								
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)									
	189,973 (44,575)	125,549 (91,707) (86,557)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
23	農林水産物輸出需要開拓事業 (H28～) おおいたブランド推進課	① マーケットインの産地づくり ・輸出産地形成に向けた海外市場ニーズ調査や生産・加工体制の構築(シャインマスカット、養殖ブリ、製材品、柑橘類) ・動物福祉に配慮した頭絡による家畜の取扱い及び血斑発生低減のための試験的取組	①	49,364	③		農林水産物の輸出額	目標値	42.4	51.9	B
			②	30,916	④			実績値	43.3	48.2	
	成長する海外需要を取り込み、農林水産業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会等が行う輸出拡大の取組を支援する。	② 新たな販路の開拓、取引量の拡大 ・商談会・展示会の出展や現地商社・海外人脈を活用したフェア等の実施	主な活動指標と達成率		[億円]	達成率	102.1%	92.9%	—		
			輸出延べ品目数	目標値	57	実績値	57	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 社会経済の再活性化の動きに合わせた積極的な販売促進活動や、ALPS処理水放出による輸出停止を踏まえた新たな販路開拓を進めた結果、輸出額は48.2億円となった。 今後も、国の実行戦略を踏まえ、輸出先のニーズに対応した産地づくりやJETRO等と連携した新たな販路の開拓など、輸出拡大に向けた戦略的な取組を進める。			
[品目]	達成率	100.0%									
海外での商談会やフェアへの出展回数	目標値	3	実績値	3							
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)									
	128,754 (35,397)	80,280 (29,580) (49,364)									
			[回]	達成率	100.0%						